主婦の歌声は続く

夏の夕暮れは一家総出

メーデー前夜祭は大牟田、荒尾とも二十七、八の両日多彩にそして華やかに行われ、働くものの祭典メーデーを前に労働者の喜びを最高潮に盛り上げて行つた。

二十七日大牟田市民館では若人たちで組織する数種の合唱隊にまじつて、一組の主婦のコーラス隊があり異彩を放つていた。これは港務支部主婦会、南分会の主婦たちでつくつている合唱サークルであつた。

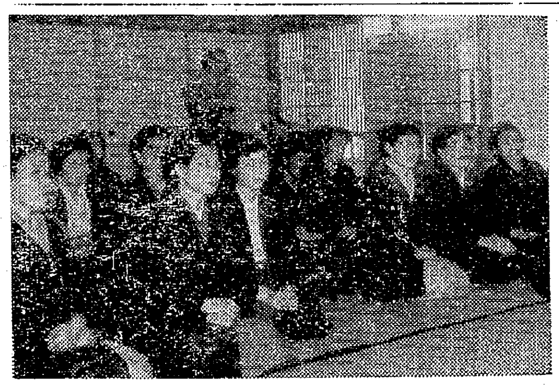
力強い成長ぶり

南分会主婦会が合唱サークルをつくつてから、もう三年にもなつている。一時は多くの職場や地域で歌うサークルが続々つくられたがいつとはなく消滅したり、全く活動力を失つているのにくらべるとここまでもつてきた南分会の主婦たちの力はたくましくさえ感じられる。

この分会のサークル結成のキツカケはこうである。

メーデーや各種の決起大会に参加するたびに労働歌の合唱があり、歌と縁の遠かつた主婦たちは、何だか肩身がせまい思いで通してきた。こういうわけで誰いうとなく歌を習いたいという声が起つたのも当然であり、これが結成えと進んでいつたのである。

幸い分会内にはよき指導者としての小北さん（支部厚生部長）がおり、早速頼んで金曜日を練習日ときめ、夕飯後の七時から九時ごろまで以来練習がつづけられているものである。



魅力は討論会

現在主婦会員五十一名、一時は集りが悪く役員ばかりで歌つたときも数回あつたが、こういうピンチを切抜けて、市民会館の前夜祭に出演するまでに発展してきた。

特にここまで持つてきた大きな力となつたものは歌唱練習終了後の話合いの場があり、これがいまでも大きな魅力となつている。歌うだけでは物足らんので、集つた機会に話合おうということになり、各自の討論ということで国内情勢とか生活のことまで話合い、入替採用とはどんなことか、近ごろ夫婦の仲が悪くてこまるなど、ここでは大きな問題から、家庭内のことまで話合うように発展して大きな成果が収められている。

ある主婦は、給料袋を夫が書替える形せきがあると訴えれば、それを中心に討論が進められることもあつた。

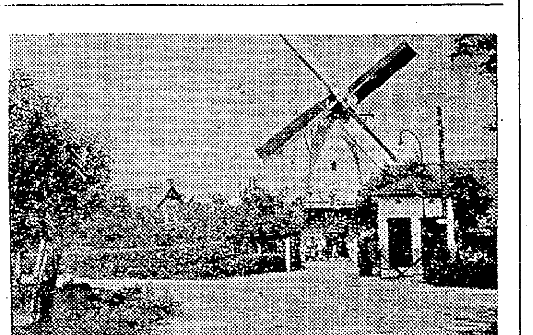
誇りに輝く主婦

上は五十を越えた主婦から二十代の若い人たちまで歌い通した。冬はつらかつた。だが夏になるとまだ日も高い、風呂帰りの子供も老人も主人たちも戸外で主婦たちと歌うほほえましい場面が毎週みられるほどの楽しさである。

こんどの前夜祭には「荒城の月」「あの子」「炭掘る仲間」を歌つた。それも二重合唱であり、はじめから楽譜をみて練習した本格的なものである。

人に聞かせるものでなく発表するような歌でもないと、断りつづけていたという出演の裏話もあるほど謙遜でもある。

だが一方、主婦会の会合で歌の練習があるとき、他分会の人がやつと練習しているのを、自分たちはもう一年も前に覚えた歌などがあると何となく誇らかになるという主婦の人の言葉もきくほどである。こんごもまだ合唱はつづけられて行くと主婦の胸は希望にふくれている。【写真は講演に一心に聞き入る南主婦会の人たち】



祝メーデー

西独で元気に働いている三君よりメーデーへつぎのような挨拶と写真が送つてきました。

祝メーデー

笹林公園に一杯あつまつた光景を想像しながら、大地評、荒地評傘下同志のこんごのご健闘を祈る。

私たちも当地のメーデーに世界平和をスローガンに参加します。この模様は追つてお知らせします祝電をと思いましたが、高価なため葉書で失礼します。

なお先日、復活祭の休暇を利用してオランダに旅行しました。

（写真はそのとき行つたオランダの写真）

解答（マンガクイズ）

大牟田（地区）第28回メーデーは（笹林公園）で開かれ大地評傘下各（組合）は勿論（革新）商店をはじめ各民主団体約（四）万人が集つた。

正解者一名（賞金五百円）　浜松　光雄（内機）

正解者は印鑑持参の上、編集部まで受取りにきて下さい。

◉殆んどの人が組合を単産にしており、また最後の四万を三万にしておりました。

なお編集部でクイズ原稿を作つたときは例年集る四万人を原稿に書き込んでいましたが、当日雨天のため三万五千人の参加者でしたが、原稿通りの四万人を正解者にしました。

歌踊りで前夜祭

荒尾では「農民の夕べ」も

今年のメーデー前夜祭は四月二十七、八の両日市民会館で行われた。二十八日は昼夜二回にわたり行われ、合計三回の会場とも盛況でいつぱいの観衆がつめかけ、メーデーへの高まりを大いに示した。

センター合唱団によるプロローグ祖国、あつちこつちからで幕をあけ、円井主婦会の博多夜船や本所合唱団、宮浦主婦会の黒田節ほかああ想夫恋などの踊りや大砂主婦会の原爆許すまじの舞踊劇、港務所南主婦会のコーラス、宮浦合唱団のうたと踊りなど多彩なプログラムにまじつて、三鉱労組関係からも主婦会、うた声などが続々出演して力演を行い、満場からヤンヤの拍手を浴びた。

（上）三川執行部の息子と盗賊
（下）フイナレーでの合唱

また二十七日夜の部では三川支部の執行部でも「息子と盗賊」の劇も行い異彩を放ち、ロツク・アウト当時の状況を劇にしたこのだしものは執行部の熱演で、観客の間では劇に魅入られて涙をソツとハンカチでふく主婦の姿もみられるくらいの上々の出来えで拍手を浴びた。

とくに二十八日には遠く渡瀬から岩津主婦会もかけつけ踊りを披露するかと思えば、はるばる緑ガ丘からも梅分会がかけつけ舞踊劇や幻想劇を上演して花を添える一コマもみうけられ、年々さかんになる前夜祭にふさわしく南から北から人々が集まり寄つて労働者の祭典を祝福した。

荒尾でも賑う

荒尾でも二十七日、市公会堂で六時から前夜祭の幕をあけ、各組合や主婦会、民主団体の手による劇踊り、コーラスが華々しく行われてメーデーへの前奏曲を高らかに奏でていつた。

ことに荒地評ではこの喜びの中に農民の人たちも是非入つてもらつてともに喜び合おうと「農家慰安の夕べ」を行い、二十八日午後六時から八幡小学校講堂で開催したが会場一杯に農家の人たちがつめかけ、非常な盛況をきわめて喜ばれた。

今年がヤマです

松川の被告濱崎氏語る

松川事件は世論の注視のなかで早くも八年の歳月が流れているが、今年一月はじめから事件は最高裁の大法廷に廻つた。ここで十五人の裁判官で裁判することになつたのだが、今年の秋には交替弁論が開かれるのではないかといわれている。

被告の一人浜崎二雄氏（三二）＝第二審判決求刑十年＝は去る四日来組三川、港務、四山の各支部で事件の真相を訴えたが、終了後つぎのように語つて、組合員の皆さんに訴えている。

今年がヤマです。八年も経てば自然と忘れられ勝ちですし、忘れられたらもうお終いです。みなさんもどうか、松川事件の問題を系統的に調べて、関心をもつてみつめて下さい。

なお現在保釈の十三名のうち動ける人は僅か十名で、残りは獄中で健康を害し入院したり、家で動けないでいるということである。未だ宮城拘置所には七名がおり、例えば太田省次氏など永い獄中生活のため拘禁性ノイローゼとなり東北大学の博士は環境が悪く転地が必要と、診断書を出している。にもかかわらず保釈は全然許可せず、返つて福島へ転送しているありさまで、被告団や救援本部では悪質な当局の意図だとして保釈とともに厳重な抗議を行つている。各地での救援体制も次第に強化されており、知名士、文化人も百余名が救援に立上り例えば映画監督の内田吐夢氏は一本撮り終つたたびに五千円を、俳優宇野重吉氏は毎月一万円、乙羽信子さんは毎月五千円をカンパしているほどであり、こうして救援活動は質的に高まつてきている。

組合長杯 すわ川を渡る

本所・委員対抗戦で優勝

四月三十日（火）第二十二回中央委員会は労働会館で行われたが、この日委員会終了後、執行部、委員一本で各支部対抗のソフトボール大会を催した。

会場は三作グラウンド午後一時から開始した日頃ケンケン、ガクガク口達者な一同もことソフトボールとなると場違いで、口ほどには手足が動かず、無念のホゾをかむ場面もみられるほどであつた球戦はA、Bの二パートにわかれ熱戦を行つたが、ヤマ組は緒戦でほとんど枕をならべて討死に、後退した。

まずAパートでは港務、宮浦、三川チームが対抗戦、三川は不戦勝で港務、宮浦の対戦となつたがガツチリ固めた港務の守備と打撃の延びが最終回で大挙五点を奪い、それまでの同点に大量加点して十三対八で勝抜き、引つづき三川と対戦したが、前戦の余力をかつて十対一と圧倒的に勝残つた。

一方Bパートでは三作、四山、本所の対抗、本所不戦勝で三作と四山の対戦となり激しい攻防戦をくり返し十四対十三で三作が辛勝、つづく本所と対戦したが、本所一回戦に大量十六点を奪取リードを奪い、三作の追撃も空しく二十八対十九で本所が勝残つた。

優勝戦は本所と港務の間で争われたが二回の裏本所四点を獲得、リードをつづけつづく五回でも四点を入れ優位を保てば、港務の追撃も漸く激しく二点を奪い、最終回での反撃なるかと思われたが一点しかとれず、ついに八対三で組合長杯は本所支部へと手渡された。

メーデーの夕

緑ガ丘講堂で盛況

三川支部緑ガ丘かえで地域分会では五月一日のメーデー行事の終つた後、午後六時から緑ガ丘講堂で「メーデーの夕べ」を催し、会場一杯につめかけた家族や分会員で盛況であつた。

これは同分会が前夜祭のために準備していたのだが、当日雨のため取止めとなり、この日に催したものであつた。

地域分会、主婦会の共同主催で行われたのだが、ほとんど全員が出演するというプログラムを組み「留守家族」「原爆許すまじ」などの劇や仁輪加、コーラスなどが行われた。

なおこの「メーデーの夕べ」にはかえで分会の人たちばかりでなく緑ガ丘地域の人たちが殆んど参加して喜ばれていた。

短信

○五月五日　こどもの日に大牟田児童相談所で三鉱労組、三鉱主婦会は団体の部でそれぞれ表彰式があり表彰された。

○五月十二日　主婦会代議員会を午前十時から市民会館で開く。

○五月十二日　四山支部緑ガ丘うぐいす地域分会では、昨年より分会、主婦会の手でグラウンドつくりが行われていたが、このほど目出たく完成したので、グラウンド開きに春季運動会を開く。

○五月二十六日　三鉱俳句吟行会を東山村の清水寺で開催する。

時間　午前十時三十分
吟行詠　一人五句
当季雑詠　一人三句以内（締切五月十五日）
選者　ホトトギス同人小原菁々子、同角菁果の両先生

○五月二十九日　作家広津和郎氏は松川事件の真相発表を訴えるために大牟田市で講演会を開く

○主婦会では改選期を迎え各支部一斉に総会が行われている。

六日本所　労働会館
〃　港務　港友クラブ
〃　三川　荒尾公会堂
八日三作　三作講堂
〃　宮浦　宮浦講堂
〃　四山　四山講堂

希望探訪

薄幸なこどもたち

擁護が多い相談所

五月五日は「こどもの日」です。日本中のこどもがみんな幸福に健康に育つて行くようにと、祝福されるのです。戦後はこどもにたいする考えは大きく変つてきました。昭和二十二年には児童福祉法ができ、二十六年には十二カ条からなる児童憲章がうまれました。こうしてこどもの幸福をはかりこどもに対する正しい観念がもたれました。こん回はこういうこどもの仕事をしている児童相談所を訪れてみました。

小浜町にある福岡県大牟田児童相談所は保育園と隣り合せに建つています。柵内の広場には小鳥園やスベリ台が設けられていて、こどもたちの楽しい遊び場になつているのです。事務所に入るとまず第一番に目に入るのが壁に貼つてある保護十訓というのでした。「こどもに向つて怒るなほえるな、こどもと一体感の中に生きよ」などがうたつてあります。

現在、県下の児童相談所は福岡八幡、田川、久留米、大牟田の五カ所にあります。これらの相談所は児童福祉法の施行にともなつて昭和二十三年に設置されました。大牟田はずつと遅れて二十九年一月にできています。では児童相談所とはどんな仕事をしているのでしょう……。いままでは民生委員、警察、学校福祉事務所、市社会課などからこどもについて問題が起つたとき相談があつたり、通告を受けたりしていましたが、昨年からは家庭・学校からの直接相談が急に増えているそうです。両親に死別れて適当な引取人のない子とか捨て子、置去り子、迷子、家出子、不良性を除く必要のある子、保護者が服役中とか病気や貧困で保護が必要な子供などや異常性行のこどもたちが相談をうけています。いまここには十七名のこどもたちがいますが、一番多いのは養育関係とのことです。こうしたこどもたちのことで相談にこられたらここでは調査や知能テスト、心理診断をしたり、預つて矯正や治療を行つているのです。このほか一時保護などもあり、明るい六室の保護室があつて二人の保母さんや、指導員の人が世話をしております。費用は全部税金でまかなわれています。このほか十四才未満で触法行為をしたこどもたちも管理しています。まずここで査定の結果預つて養護されるのです。多いときには一日に三、四名の出入があるほどです。預けられた子は治療をして帰したり教護院に送つたりしているとのことです。

このごろの特徴としては知能が低いからとか性格が異常だとか教育の相談が増えているそうです。いま入つているものの中には知能の低いものや神経質なこどもが多いと係の人はいつていました。とくに十二、三才のこどもが多く、なかには家が恋しく逃げ出すこどももいるそうです。係の人をあわてさせています。一番困るのは病気をもつてくるこどもだそうで、また多数の中には寝小便をして保母さんたちを困らせているこどももいるそうです。このほか、一日里親という制度もあり、今年は細谷市長も一日里親となつている。

鯉のぼりの下で無心に遊ぶ子たち

『メーデー南北対抗』軍配

北（大牟田）

れがやつても同じだという考え方を改め、国民の幸福のために実行力ある政治家を選ぶことが先決問題である。

まず手近な問題としては

一、大牟田市が購入したし尿運搬船（十五万円）の問題にしても一時は監査委員が監査結果を一部公表したが、同問題には当時某市会議員が介入していたのではないかという段階になり「ウヤムヤ」になつた。

二、福岡県庁の一億円不正流用事

では一致した。

㊂われわれは民主的な機関紙でこんごおおいに論争して、組合の強化に役立たせるべきであると考える。ただし持論や見解のちがいを暴力によつて解決するいかなる試み、傾向をも排撃する。

（三川　藤末克己　坂本徹雄　池田昭二）

大衆を理解しよう

自分の利益のことばかり考えて他人のことは考えない、組合の悪口

とである。

大衆の欠陥ばかり見て、大衆のすぐれた点を見ないのは、本当に大衆を理解したものとは云えない。大衆から学ぶと同時に大衆に教える、大衆の闘う心を信頼する。即ち相互教育、相互尊敬、信頼の念が大切だと思う。短所を除くと同時に、長所を伸ばす様に努力をしよう。今日より明日は必ず良くなると思う。

（三川　藤末克己）